

平成 25 年 7 月 17 日

各 位

神奈川県川崎市高津区坂戸 3-2-1  
オンコセラピー・サイエンス株式会社  
代表取締役社長 角田 卓也  
(コード番号 4564 東証マザーズ)  
(問い合わせ先) 取締役管理本部長 山本 和男  
電話番号 044 - 820 - 8251

がんワクチン療法における自動免疫検査システム (automated-Specific Immuno-monitoring System)  
の共同開発契約締結のお知らせ

当社とパナソニック ヘルスケア株式会社 (本社：東京都港区、代表取締役社長：山根 健司) は、このたび、がんワクチン療法の効果を判定するための免疫検査を自動で行うシステム (automated-Specific Immuno-monitoring System) を共同で開発する契約を締結いたしました。

従来のがん治療では、外科手術療法、化学療法、放射線療法といった治療法が選択的に行われてきましたが、近年、患者さん自身の免疫反応を利用した、がんワクチン療法の開発が急速に進んでいます。がんワクチン療法は副作用が軽微であり、患者さんへの負担が少ないことから、新たな治療法として期待されています。

当社では、がんペプチドワクチン療法\*の臨床開発と同時に、ワクチン療法の効果を客観的に判定する免疫検査について、ノウハウの蓄積、ISO 取得など体制の整備に取り組み、免疫検査システムを構築してまいりました。さらに、重要な課題となっている免疫検査の標準化に向けた取り組みも進めてまいりました。

パナソニック ヘルスケア株式会社では、グループの総合技術力を活かして、一人ひとりに最適なヘルスケアを実現するために様々な医療機器の開発に取り組んでいます。

今回両社は、がんワクチン療法における免疫検査工程を自動で行う検査システム (automated-Specific Immuno-monitoring System) を共同で開発することに合意いたしました。本システムが開発され、実用化されることにより、がんワクチン療法における客観的な免疫反応の効果判定が確立でき、がんワクチン療法の臨床開発を加速させることが考えられます。

がんペプチドワクチンの国内外の治験を主導する当社の創薬技術と、パナソニック ヘルスケア株式会社のメカトロニクス技術・医療情報技術の融合により、両社は本システムの 2014 年度初旬の実用化を目指すとともに、がんワクチン療法における免疫検査の世界基準を目指し、鋭意取り組んでまいります。

なお、本件は平成 25 年 5 月 15 日発表の、平成 26 年 3 月期連結業績予想に含まれております。

※がんペプチドワクチン療法：ペプチドを患者さんに投与することによって、がん細胞を攻撃できるリンパ球を誘導するがん免疫療法。

以 上

<パナソニック ヘルスケア株式会社>

パナソニック ヘルスケア株式会社は、「診断と治療の連携」「医療情報の活用」「創薬・研究の支援」を通じて、一人ひとりに最適なヘルスケアを実現するために、お役立ちし続ける企業を目指しております。

- ・本社所在地：東京都港区西新橋 2-38-5
- ・代表取締役社長：山根 健司
- ・主な事業内容：血糖値測定システム、電子カルテシステム、ライフサイエンス機器などの医療機器の開発・製造・販売・サービス
- ・資本金：7,907 百万円